

1. 科目名 (単位数)	音楽Ⅱ (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SS0T2523															
2. 授業担当教員	高木 麻衣子		SC0T2523															
4. 授業形態	演習、講義、実技	5. 開講学期	春期															
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽」「音楽実践演習」を履修していること																	
7. 講義概要	「音楽Ⅱ」では主に保育現場で行われているリズム活動に対応できるリズム感とそれを身体表現できる力の育成、子どもの楽器活動に関する理解、手遊びの習得を目指す。保育現場で行われるリズム活動では、身体を使って音楽を感じ取り表現するので、活動にふさわしい楽曲の演奏や動きに合わせて即興的に演奏する方法を身につけなければならない。また、わらべうたが培う子どもの力を理解し、わらべうたを歌い遊べるようにする。さらに主にリズム楽器の正しい奏法、扱いに習熟し、子どもの歌や楽曲を楽器で楽しむ方法を学ぶ。1 年次に培った弾き歌いの演奏技術を継続的に磨き、手遊び歌のレパートリーも増やす。手遊び歌はわらべうた同様、アカペラで歌うものなので、正しい音程で歌えるソルフェージュ力をつける。																	
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リズム活動のためのピアノ演奏ができる。自身も音楽に合わせリズムカルに動ける。</li> <li>2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持つ。楽器遊びや合奏にアレンジできる。</li> <li>3. 手遊び歌、わらべうたのレパートリーを増やし、正しく歌い遊ぶことができる。</li> <li>4. 弾き歌いの演奏技術を高める。</li> </ol>																	
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	ピアノ実技：毎回課題曲を提示するので、次回の対面授業までに弾けるよう練習してくること。グループ活動：お互いに協力し合い、練習をして発表に臨むこと。																	
10. 教科書・参考書・教材	教科書 音楽(幼) で使用した教科書を継続使用 参考書 ①『新・幼児の音楽教育』第3版最新版 朝日出版																	
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせてリズムカルに動けるか。</li> <li>2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持ち、楽器遊びや合奏にアレンジできるか。</li> <li>3. 手遊び歌、わらべうたを正しく歌い遊ぶことができるか。</li> <li>4. 弾き歌いの演奏技術を高められたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>手遊び歌、わらべうたの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>弾き歌いの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学規定に定められている3/4以上の出席を単位認定の条件としている。</p>			1	リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%	2	保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%	3	手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%	4	弾き歌いの発表	総合点の20%	5	授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の20%
1	リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%																
2	保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%																
3	手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%																
4	弾き歌いの発表	総合点の20%																
5	授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の20%																
12. 受講生へのメッセージ	1年次で学んだ「音楽」及び「音楽実践演習」をもとにして、さらに応用力を培うために多くの楽曲に取り組めます。ピアノの基礎的な演奏技術を前提に授業を行ないますので、日頃の鍛錬を忘れないようにして下さい。また、グループ活動では一人ひとりの意識が作品に大きな影響を及ぼします。集団でしか味わえない音楽の素晴らしさを体験しましょう。																	
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示																	
14. 授業展開及び授業内容																		
講義日程	授業内容	学習課題																
第1回	・自己紹介・授業ガイダンス・シラバス説明・楽典の理解度調査・音楽学習歴調査・練習曲の指示・進捗票配布	事前学習	・シラバスを読み音楽Ⅱの内容を理解する ・楽譜を用意する ・バイエルなど任意の1曲を練習しておく															
		事後学習	・学習内容を確認する ・課題の楽曲を復習しておく															
第2回	・ピアノコードの学習① (コードの基本型) ・弾き歌い曲レッスン① (子どもの歌) ・リズム活動①	事前学習	・ピアノコードの復習 ・任意の楽曲の予習															
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習															
第3回	・ピアノコードの学習② (コードの展開型) ・弾き歌い曲レッスン② (子どもの歌) ・リズム活動②	事前学習	・ピアノコードの復習 ・任意の楽曲の予習															
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習															
第4回	・ピアノコードの学習③ (コードによる伴奏型) ・弾き歌い曲レッスン③ (子どもの歌) ・リズム活動③	事前学習	・ピアノコードの復習 ・任意の楽曲の予習															
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習															
第5回	・ピアノコードの学習④ (コードによる伴奏型) ・弾き歌い曲レッスン④ (子どもの歌) ・リズム活動④	事前学習	・ピアノコードの復習 ・任意の楽曲の予習															
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習															
第6回	・ピアノコードの学習⑤ (コードによる簡易伴奏) ・弾き歌い曲レッスンと⑤ (子どもの歌)	事前学習	・ピアノコードの復習 ・任意の楽曲の予習															

	・わらべ歌①	事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・わらべ歌復習
第7回	・ピアノコードの学習⑥（コードによる簡易伴奏） ・弾き歌い曲レッスン⑥（子どもの歌） ・わらべ歌②	事前学習	・ピアノコードの復習 ・任意の楽曲の予習 ・わらべ歌予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・わらべ歌復習
第8回	ピアノコード弾き歌い発表	事前学習	・発表に向けた予習
		事後学習	・発表後の振り返り
第9回	・弾き歌い曲レッスン⑦（子どもの歌） ・簡易楽器・手作り楽器(種類と奏法)①	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・楽器についての予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習 ・楽器についての復習
第10回	・弾き歌い曲レッスン⑧（子どもの歌） ・簡易楽器・手作り楽器(作成・合奏)②	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・楽器についての予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・楽器についての復習
第11回	・弾き歌い曲レッスン⑨（子どもの歌） ・簡易楽器・手作り楽器(作成・合奏)③	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・楽器についての予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・楽器についての復習
第12回	・弾き歌い曲レッスン⑩（子どもの歌） ・手遊び歌①	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・手遊び歌の予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・手遊び歌の復習
第13回	・弾き歌い曲レッスン⑪（子どもの歌） ・リズムによる身体表現① ・手遊び歌②	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・リズムによる身体表現の予習 ・手遊び歌の予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・リズムによる身体表現の復習 ・手遊び歌の復習
第14回	・弾き歌い曲レッスン⑫（子どもの歌） ・リズムによる身体表現② ・手遊び歌③	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・リズムによる身体表現の予習 ・手遊び歌の予習
		事後学習	・発表への準備練習
第15回	期末発表	事前学習	・発表への準備練習
		事後学習	・発表した楽曲の復習